

議会だよりランナ

シリーズ第2回

地域の元気なおじーおばー

前田サエさん大正7年生まれ102歳、
安富祖区の最高齢者で当区の知恵袋（宝
物）です。
サエおばーは今日も自宅近くの畑で元氣
にクワを振り下ろし、大好きな野菜作りを
楽しんでいます。
足腰が強く、目、聴きもしっかりした笑
顔の絶えないスーパーおばあちゃん。

記事担当：山田 政幸

もくじ

- 一般会計補正予算(第4号) P2~3
- 所管事務調査
(総務財政文教委員会) P4~5
- 陳情 P6~P7
- 一般質問 P8~16
- 表彰を受けました P17
- 議会の動き P18



一般会計補正

1億7319万円追加



漁港海岸等休憩施設解体工事

900万円

施設老朽化に伴う解体工事。東屋(海浜公園9棟、真栄田漁港2棟)



村道廻袋線橋梁改修工事 (喜瀬武原区)

▲2887万4千円

今年度予算減額に伴い、県に対し次年度事業として再度予算要求。



社会教育総務費 激励金

30万円

村内在住の者で、教育、芸術、文化、スポーツの分野において特に優秀な成績を修めた個人に、県外派遣で2万円、国外派遣で3万円、激励金を支給。



奨学資金給付金・貸付金

▲558万円

給付金については想定していた人数の半分であり、事業内容の周知不足。給付の支給時期が4月であるが、入学金や授業料等、新年度になる前に支払等があるので、支給時期の検討要望。

予算(第4号)

総額144億4089万7千円

住民情報システム構築委託業務

令和元年～7年：

債務負担行為補正：長期にわたり財政負担が具体的に決まっている。

3億1861万3千円

国が推奨する自治体クラウドとして宜野座村と共同で同じシステムを導入し、運用コストの削減や情報セキュリティ水準の向上、庁舎が被災しても業務の継続が可能等、住民サービスの向上及び、職員の働き方の改善を図る。

沖縄型森林環境保全事業

506万9千円

松くい虫被害木の伐倒や被害予防の樹幹注入



事業所浄化槽汚泥処理委託料

1263万5千円



大型リゾートホテル新設等による搬入量の増

ふるさとづくり応援寄附金業務代行委託料

3886万5千円

応援寄附金返礼品の発注・送付をする事務を商工会へ委託。



所管事務調査（総務財政文教委員会）

北西部四村観光連携 型養殖場整備事業

（伊是名村）



トコブシ養殖施設 外観



畜養生け簀の破損

当初計画ではトコブシの生産となっているが、海ぶどうの養殖場、シャコガイの稚貝養殖、事務所兼海ぶどうの直売店や出荷選別施設として利用されている。

施設については老朽化が進行し、コンクリートの爆裂、鉄筋腐食、屋根の破損、ポンプ類の故障があるが、維持補修しながら延命化を図っている。

種苗稚貝育成施設において漁業者4

名が養殖に従事し、いけす40基を利用しており、選別作業の雇用で外国人も含め10名程度の雇用がある。

また、民間企業と共同研究し新たな海藻養殖の実験を行っている。

（恩納村）



出荷調整生け簀



水産物加工流通施設

村内施設の現状として、農水産物販売センター（なかゆくい市場）は、近年観光客の増加により県内でも有数の販売所として展開している。当初の目的であった三村で養殖された水産物は、恩納村で加工・流通させ、離島三村の地元産品を含めて販売の集約化を行うことにより、北西部四村の水産物の活性化と雇用の拡大、経済の自立を図る目的で、魚類については1～2年販売したが、その後計画どおりに推移していない。

水産物共同処理施設は、恩納村漁協を中心にモズク、海藻の加工や保存施設として利用されている。

水産物加工流通施設は、海ぶどうの加工や冷凍、冷蔵保存、モズク、海藻、海ぶどうの販売等、当初計画通り進んでいる。しかし蓄養水槽は老朽化が進み使用されてなく漁具等が散乱している。漁協としては、取り壊して別の用途に利用したいとの事であった。ドアについては腐食のため交換している。

（移管・譲渡について）

三村施設の利活用や移管・譲渡について担当職員としては、利活用の方法を漁協も含め検討、改良していきたいとの事であった。移管や譲渡については、当該村内部で検討し、1村については異論はないとの事であった。

5. 意見及び提言

以上の事から考慮すると、北西部四村連携型事業は各地域で努力はしたが、全体として生産や販売、流通において計画どおり推移していないことが分かる。

当初の計画で施設以外の機械類、備品類等の修繕については、三村独自で修繕するように、村例規に明記されているが、施設の老朽化に伴う修繕、処分等については、何ら明記されていない。早急に四村担当者会議を開催し、お互いの現状認識を共有し、施設、機械類、備品類の維持管理や今後の生産、加工、流通等について、改めて責任の所在、方向性を確認し、首長会議を開催して今後の四村の方向性を決定し、沖縄防衛局と協議を重ね改善する時期に来ていると思慮する。

また、委員会としては、三村に設置された施設、機械類、備品類等の村公有財産を早めに三村に移管・譲渡を進めることを村当局に提案する。

記事担当:外間 勝嘉

1. 調査の目的

北西部四村観光連携型養殖場整備事業で整備した施設は、現在一部を除き機能しておらず、施設や備品については村公有財産となっており、維持管理と事故が起きた時の対処について懸念されることから、現状の調査と今後の方針を検討する。

2. 期間 平成30年12月18日から令和元年11月22日

3. 事業の概要と経緯

北西部四村観光連携型養殖場整備事業は、実施主体である恩納村を中心に伊江村、伊是名村、伊平屋村で実施され、総事業費23億4千4百万円である。事業の目的は恩納村で海ぶどう、伊江村や伊是名村でトコブシ、伊平屋村でヒラメの養殖水産物を生産し、水産物の安定供給体制を整備し、養殖された水産物は恩納村で加工・流通させ、離島三村の地元産品を含めて販売の集約化を行うことにより、北西部四村の水産業の活性化を図るものであった。

平成10年度に基本構想、平成11年度に実施計画、平成12～15年度建築工事を実施し事業がスタートした。当初の事業目的である、トコブシやヒラメの養殖は平成20年度ではほぼ終了しており、現在、三村には5,761㎡の施設財産や機械類、備品等が残されている。

4. 調査の結果

（伊江村）



トコブシ養殖施設 外観



フロアーポンプ

当初計画ではトコブシの生産となっているが、生産が成り立たず停止しており現在は未利用である。今後は養殖試験を高知大学と連携し実施を予定している。

また、施設全体については老朽化が進行し、コンクリートの爆裂、鉄骨支柱基礎部分腐食、壁破損等が目立ち、屋根は台風による破損が多くフロアーは長期間使用が無いため著しく腐食している。

飼料施設について飼料倉庫として整備されているが、事業計画にない品目で使用されており、当該施設では漁獲高はなしとなっている。

（伊平屋村）



ヒラメ養殖施設 外観



養殖場内部

当初計画ではヒラメの生産となっているが、県内でのヒラメの認知度が低いことや、夏場の高水温への適応、県外種苗によるコスト高のため、馴染みのあるヤイトハタ（ミーバイ）へ品目を変更し年間約20tの生産を行っている。

施設については、老朽化が進み腐食や破損が目立つ。養殖水槽については当時のまま使用している。プレハブ冷凍

庫は使用不能でプレハブ冷蔵庫は使用可能であるが、軽微な備品に関してはないものが多い。機械類については自主財源で維持管理している。施設管理は伊平屋漁協から3名の職員を配置しており、現在、沖縄県と共同でその他魚種の研究も実施している。

当初計画においては、恩納村の水産物加工流通施設を経由しての販売であったが、水を使わない輸送方法が確立し、経費削減のため直接市場での販売を行っており、計画どおり推移していない。

本陳情は、真栄田岬駐車場周辺における営業活動や占有への指導・是正勧告であり、誰でも営業できるという現状や安全面への対策ができてない状況等を踏まえて、下記の事項について求めるものです。

- ①公共の駐車場を占有している事業者の是正及び規制を行うこと。
- ②恩納村でのガイド業に免許制・行政処分の導入を行い役場への届出制度の作成をすること。
- ③無店舗・無届け・無保険・無資格の事業者を許さないために、陸域からのシュノーケル事業者も水上安全条例の対象となるようにすること。
- ④マリンレジャー事業者は、毎年一次救命処置とレスキュートレーニングの受講の義務化をすること。

関係課長から

- ・農道における路上駐車については、ブロックを置いて駐車が出来ないようにすることや一方通行にすることを案として検討している。
- ・指定管理者に対しヒアリングを行ったところ、事業者の道具が放置されていることについて黙認している現状や、場所取りをしている事業者に対し注意をしても入れ替わり新規事業者が来ること、繁忙期の渋滞の緩和のために駐車場の拡張も検討しているが様々な問題により実現できていない。

経済建設民生委員会として

駐車場における業者の道具等が放置されている件について、黙認している状況とのことだが、指定管理者には、道具の放置も含め駐車場の占有をする業者に対して、徹底的に指導をさせるべき。また、行政側からも積極的に関わり、指定管理者と連携して、業者に対して行政指導を行う事も必要だと考える。

また、駐車場の占有・渋滞の原因のひとつである現地での集合・ダイビングの講習については、講習場所の検討や店舗での講習を基本として行うよう指導させ、訪れる人すべてが気持ちよく観光できる環境づくりを行うこと。あくまでも指定管理施設は村の財産であり、村民全体に供されるべきである。

陳情第30号

採択

「居宅介護支援事業所の管理者の資格要件に係る経過措置期間延長に関する意見書採択」に関する陳情について

本陳情は、国の基準の改正において、居宅介護支援事業所における管理者の要件が主任介護支援専門員と定められ、その経過措置期間が令和3年3月31日までとなっているが、主任介護支援専門員になるためには、専任の介護支援専門員としての従事期間が5年以上の者が、70時間の研修を受ける必要がある。

しかし、様々な理由により研修を受講できない状況があることから、このままでは経過措置期間内に間に合わず県内の事業所で主任介護支援専門員を確保できないまま廃業又は休止となってしまう、高齢者に必要な介護サービスが提供できない問題が発生することが懸念されることを踏まえ、居宅介護支援事業所の管理者の資格要件に係る経過措置期間延長に関する意見書を国に提出することを求めるものです。

担当課長から

「村内には事業所が6か所あり、うち2か所は主任介護支援専門員が不在のため、研修を受講が出来ないまま不在の状況が続けば閉鎖や休止になってしまい、介護サービスの提供に影響があると考える。」と説明がありました。

委員から

「主任介護支援専門員になるための研修は自己負担で受講するのか。」という質疑があり、「個人における資格取得に対する村の補助は行っていない。」と説明がありました。それに対し、「今後ますます高齢化が進み、介護サービスの重要性は高まってくる。そのためには人材の確保が最も重要であり、村が受講料を負担する等、介護サービスに従事する方への支援を充実していただきたい。」と意見がありました。

陳情第21号・第26号

不採択

恩納村海岸管理条例の一部見直しに関する陳情について

本陳情は、恩納村海岸管理条例において荒天時(台風又は波浪警報時)に海岸に立ち入る行為が禁止されていることについて、気象台が発表する警報と恩納村沿岸域の海況が著しく異なるため、観光客から「穏やかな海なのに」と苦情が寄せられていること、村海岸管理条例を順守している業者がいる一方で、条例を順守しない業者へ顧客が流れ、村外事業者との過当競争で経営基盤が崩されかけている現状を踏まえて、下記の事項について求めるものです。

- ① 荒天時(台風または波浪警報が発表されているとき)に海岸に立ち入る行為を禁止するのではなく、波浪警報時は恩納村漁業協同組合か恩納村ダイビング協会又は各宿泊事業者やビーチ管理者の判断に任せること。
- ② 恩納村海岸管理条例第7条、行為の禁止(5)「荒天時(台風又は波浪警報が発表されているとき。)に海岸に立ち入る行為」に下記の但し書きを加えること。
※但し、陸地から100m以内の海域及びリーフの内海は波高2.5m未満時を除く。

関係課長から

- ・恩納村海岸管理条例は村民だけではなく恩納村の海岸を利用する全ての人を守る為の条例であり、荒天時における海岸への立ち入り禁止においても、注意喚起を前もって行うことを目的としたもので、条例により海難事故は抑制されていると考えている。
- ・条例の第7条(5)中の荒天時の定義において、「大津波・津波警報が発表されているとき」を追加することを検討している。
- ・今後は海岸区域のパトロール等を含めた管理業務の強化も検討し、予想されるリスクへの対策を行う。

経済建設民生委員会として

この条例は、恩納村の海岸を利用する全ての人を守るために制定した経緯があることから、安全確保の観点からみても、荒天時における海岸への立ち入り禁止について見直すことは好ましくない。また、本条例は海岸の秩序ある利用を図り、自然環境の保全と公衆の福祉に寄与することを目的とするもので、本陳情で求められる条例の改正内容は本来の目的に依拠しない。

さらに、気象庁における警報は重大な災害が起こるおそれのある旨を警告して予報されるものであるということからも、前もって危険を避ける為に海岸への立ち入りを禁止することは、安全対策において最も重要である。近年では異常気象が続いており、いつ・どのように海況が急変するかも分からない状況もあるため、この点においては特に徹底すべきである。

陳情第25号

採択

真栄田岬駐車場占有のダイビング・シュノーケルツアー事業者に関する陳情



第10回恩納村議会12月定例会

一般質問(12月10日～11日)

今回の一般質問

(●(白抜き)は今回掲載された質問です)

仲田 豊 議員 電話967-8338 P 9

- MDGsについて
- SDGsについて
- SDGs未来都市、自治体SDGsモデル事業及びその計画について

宮崎 豊 議員 電話966-2458 P10

- 村営ビーチの安全対策について
- 国道の案内板について
- 農業振興アボカドについて
- 人材育成と台湾について
- 高齢者向け超小型電気自動車について

糸数 昭 議員 電話965-4052 P11

- 医療・保険制度について

山城 良一 議員 電話090-1945-5511 P12

- 公共財産等の管理について

喜納 正誠 議員 電話964-2580※掲載なし

- 観光振興について

安里 周作 議員 電話966-8352 P13

- 給食費無償化について
- SDGs未来都市計画について
- 教育現場におけるSDGsの取組について
- 村道勢高2号線完成後の安全対策について
- ソルヒヨドリ生息範囲拡大対応について

島袋 裕介 議員 電話090-8919-8818 P14

- 中学校統合の部活動について
- スポーツ振興について

外間 勝嘉 議員 電話967-8380 P15

- 喜瀬武原冠水被害について
- 恩納村内の消火栓について
- 定住促進について

吉山盛次郎 議員 電話965-0669 P16

- 山田校運動場照明施設に係る住民の機会均等の権利について
- マリンレジャー業者の許認可制度導入について
- 子の貧困対策について
- 美留地内美留川周辺について
- 令和2年度からの村陸上競技大会について

議会会議録は議会事務局、各字公民館でご覧いただけます。
また、村ホームページ(議会ネット中継・会議録)からも検索できます。

3月定例会のご案内!!

3月定例会は、3月9日(月)開会を予定しています。
なお、会期や、一般質問などの詳細な日程については、議会事務局まで問い合わせください。
皆様の傍聴を、お待ちしております。

【問い合わせ先】議会事務局 ☎(098)966-1199

※質問の要旨は、一般質問通告書でご確認下さい

MDGsについて

◆◆◆◆◆
仲田 豊 議員
◆◆◆◆◆



質 国連で採択されたMDGs(ミレニアム開発目標)とSDGs(持続可能な開発目標)の違いは。

答 企画課長 山城雅人

MDGsは発展途上国向けの開発目標として、2015年を期限とする8つの目標を設定していましたが、15年間で国際的な環境も大きく変化しまして、新たな課題が浮上したため先進国を含む国際社会全体の開発目標として、2030年を期限とする17の目標を設定しております。MDGsを引き継ぐ形でSDGsは採択さ

SDGsについて

質 SDGsという用語は何か伺います。

答 企画課長 山城雅人

れましたが、幾つかの点で異なり、MDGsは途上国の開発問題が中心で、MDGsは先進国が援助する位置でありました。SDGsは開発だけではなく、経済、社会、環境の三側面全てに対して先進国にも共通の課題として設定されているところが異なります。

SDGsの用語であります、大きな目的である、「誰ひとり取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、持続可能な開発目標、英文、サステイナブルデベロップメントゴールズの頭文字を、SDGsとしております。

質 誰ひとり取り残さない国際社会を築くため、SDGs宣言を全会致で採択されました。国連の

参加国数、行動計画の目標数、ターゲット数、達成目標年度を伺います。

答 企画課長 山城雅人

150を超える加盟国首脳参



加のもと、17の目標と169のターゲットを取り決め、達成目標年度は、2016年から2030年までの国際目標です。

質 本村は、SDGs未来都市、地方創生に資する自治体SDGsモデル事業が内閣府地方創生推進室からことし7月1日に認定書授与式がありました。選定された経緯をお聞かせください。

答 企画課長 山城雅人

サンゴの村宣言の、サンゴを中心とした自然環境に優しい地域づくりの取り組みがSDGsの理念と共通する点が多いことから、相乗効果を図るため推進することになり、平成31年3月に内閣府地方創生推進室が実施しますSDGs未来都市、自治体モデル事

SDGs未来都市、自治体SDGsモデル事業及びその計画について

質 モデル事業として恩納村は他市町村に比べて、先進的な事業をしたいと思います。村長の見解をお願いします。

答 村長 長浜善巳

業へ申請し、次世代SDGs推進評価調査検討委員会のヒアリングを経て、令和元年7月、内閣総理大臣より選定書が授与された。SDGs未来都市は全国で31都市、自治体SDGsモデル事業は10事業であり、本村の提案が特に先進的な取り組みとして認められたところです。

私たちはサンゴの村宣言をし、SDGsも似通うところがあることで、今回、このプロジェクトも進めているところです。今後、恩納村がサンゴ再生事業に取り組んでいることを広くアピールし、一緒に活動ができるところは活動し、恩納村から海の豊かさを守ろうということが、世界の海の豊かさを守ろうということにつながるのではないかと私は考えております。

◆◆◆◆◆
宮崎 豊 議員



◆◆◆◆◆
村営ビーチの安全対策
について

質 ナビビーチ、東屋が現在ロープが張られて使用できない状態です。今後の予定はどうなっているか。

答 農林水産課長 宮平 寛

東屋とパーゴラについて機能判定を実施しました。結果としては、東屋、パーゴラその8割が心材の腐食、またはモルタルの剥離等が著しく非常に危険な状態と判定

されたところです。今後の予定につきましては、本年度内に東屋を解体して、危険性の除去を行っていききたい。令和2年度以降につきましては、仮設テント等を含めて、運営に支障がないよう関係課、指定管理者と調整を図っていききたい。



海浜公園東屋

◆◆◆◆◆
国道の案内板について

質 案内板、文字が剥げ落ちている場所が見受けられます。国道事務所に早期の対応をお願いしたい。新しくできたリゾートホテル、ビーチを含め、観光の村としてお客さんにアピールするためにも早い対応が必要だと思いますが。

◆◆◆◆◆
建設課長 崎山 敦

恩納村の名嘉真、希望ヶ丘入り口の南側に向かつての看板だと思いうんですけれども、大きめにしておき、新しいものを設置する方向で設計を行っているところであるという報告を受けております。

◆◆◆◆◆
農業振興アボカドについて

質 11月に台湾農業委員会や台湾の優良アボカド農家、市場等の視察研修がありました。課長の感想を聞かせて下さい。

答 農林水産課長 宮平 寛

今回の台湾視察研修につきましては、熱帯果樹に関する行政、研究機関、アボカド生産農家、卸売市場などの視察を実施いたしました。主な内容は、行政院農業委員会では台湾農業の特色とその概要、嘉義市にあります農業試験場は、アボカドなどの熱帯果樹に関する研究成果や試験農場の見学を行っております。生産農家では経営状況や栽培農場の見学、卸売市場では熱帯果樹の取引や消費動向などを調査いたしました。今後の本村の果樹振興に大いに役立つものであったと考えております。

ます。率直な感想としては、熱帯果樹の品種の多さ、大きさ、見栄え等、本当に素晴らしいものがありました。それに加えて栽培に関する精密機器等を導入して、農薬の検査等も徹底され、食の安全性に対してもものすごい取り組みをしているなど感心したところがあります。

◆◆◆◆◆
高齢者向け超小型電気自動車について

質 タイムス紙に超小型EV購入に補助金という記事が出ておりました。お年寄り、観光客、皆さんがこれから一般化していくと思います。SDGsの資料の中でも非化石燃料交通機関の整備という項目がありました。検討できないか。

答 福祉健康課長 長浜保治

超小型電気自動車は、高齢者ドライバーの最適な乗り物と報道が一部あります。しかし現時点において村の助成には慎重に検討して、今後も国の動向や車両の安全性の向上等を注視していきたいと考えております。

◆◆◆◆◆
糸数 昭 議員



◆◆◆◆◆
医療・保険制度について

質 平成30年から国民健康保険財政運営の責任主体が市町村から沖縄県に移行されました。県は

事業の運営を実施するために、各市町村に令和5年を目標に国民健康保険税の賦課方式や税率の改定を段階的に進めています。それによってどう変わるか。

答 福祉健康課長 長浜保治

現在、市町村ごとに賦課方式が、4賦課方式や3賦課方式と統一化されておりません。令和6年度までに県が3方式へ賦課方式を改正します。村は今定例会に国民健康保険条例の一部改正を行い、資産割を除いた3賦課方式へ改正します。税率は、県が示している国民健康保険事業費の税率を基準に、標準保険税率の部分で改正を行っていきます。

質 3賦課方式に変わった場合、村の国民保険税の運営に影響があるか。

答 福祉健康課長 長浜保治

県が主体になることで国保の安定的な運営、負担の公平化、事務の効率化、医療費の適正化等がなされ、市町村の国民健康保険事業が円滑に行われます。

質 これまで約20年据え置きにされていた村の保険税は、上がるのか下がるのか。

答 福祉健康課長 長浜保治

現在と統一される保険税を軽減なしの世帯で比較しますと、所得割が8・3％から10・77％、これは2・47％の増になります。均等割については、現在2万1千円で、4万5千円に、2万4千円の増となります。また平等割については2万1千円から3万2千円で、1万1千円の増となる予定です。

質 財源確保や医療費の抑制で、疾病予防、健診の受診率の向上、早期発見、早期治療等の取り組みについて。

答 福祉健康課長 長浜保治

早期発見、早期治療等の取り組みについて、現在、特定健診受診率、過去3年間において平成28年度が43・1％、平成29年度が44・8％、平成30年度においては46・4％という実績です。また保健指導も平成28年度61・3％、平成29年度59・3％、平成30年度において69％と、受診率、保健指導ともに県内上位の位置にあります。そういった抑制が早期発見、早期治療に取り組み、受診率の向上と医療費の抑制に実績を残しています。

質 メタボリックシンドロームの該当者や予備軍が以前、上位にありましたが、良くなったか。

答 福祉健康課長 長浜保治

平成24年、男性のメタボ該当者が29・5％、平成30年度には32・3％に増加しております。メタボ予備軍は、24・7％から20・5％に減少しております。女性のメタボ該当者が平成24年度16・9％から平成30年度15・9％、予備軍が11・4％から12％となって横ばい状態です。



質 健康診断の結果を、村民に、自分の健康は自分で守るという共同の認識の元に報告会や説明会を実施すると、医療費の抑制と受診向上につながると思いますか。

答 福祉健康課長 長浜保治

区長、議会の皆様に内容の部分を説明したいと考えております。

◆◆◆◆◆
山城 良一 議員



◆◆◆◆◆
公共財産等の管理について

質 総務財政文教委員会において、所管事務調査報告書が委員長から議長に提出され、村当局にも通っていると思います。施設や備品については、村公有財産となっており、維持管理と事故が起きたときの対処について懸念されることから、現状の調査と今後の方針を検討し、村内の施設においては現地踏査も含め、村漁協から説明を聴取しました。総事業費23億4千4百万円で、事業の目的は恩納村で海ぶどう

伊江村や伊是名村ではトコブシ、伊平屋村でヒラメの水産物を生産し、水産物の安定供給体制を整備し、養殖された水産物は恩納村で加工、流通させ、離島三村の地元産品を含めて、販売の集約化を行うことにより、北西部四村水産物の活性化を図るためのものであった。当初の事業目的であるトコブシやヒラメの養殖は平成20年度でほぼ終了しており、三村には5千7百61平米の施設財産や機械類、備品等が残されている。伊江村は生産が成り立たず停止しており、今後は養殖試験を高知大学と連携し、実施を予定している。伊平屋村は、当初ヒラメの生産となっていたが、認知度が低いことや、種苗によるコスト高のためヤイトハタ（ミーバイ）への品目を変更し、年間約20トンの生産を行っている。現在、県と共同で、その他魚種の研究も実施している。各地域で努力はしたが、計画どおり推移していない。委員会としては、村公有財産を早目に三村に移管、譲渡を進めることを当局に提案するとされておりますが、今後の取り組みについて伺います。



前兼久漁港施設

答 農林水産課長 宮平 寛

村所有施設の移管、移譲及び今後の方向性について、三村の担当者でしっかり協議を進めていきたい。

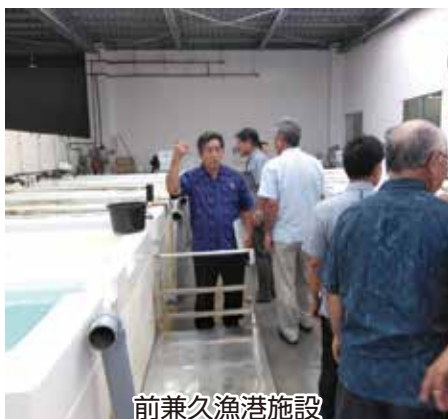
答 村長 長浜 善巳

総務財政文教委員会より貴重な報告書が上がっております。四村連携事業は、各地域では努力はしてはいますが、生産や販売、流通において計画どおり推移しなかった。必要であれば首長が集まって今後の方向性を示していきたい。

質 石川高等学校内に、村有地として5千2百59㎡の土地が登記されていますが、経緯と、今後どう対処すべきか。

答 総務課長 新里 勝弘

学校創設以来、村が土地を購



前兼久漁港施設

入して無償で提供しているものと認識しております。県と有償で賃貸借ができるのかも含めて、方向性を模索していきたい。

答 村長 長浜善巳

創設の目的としては、今後の庁舎を始めとする公共施設の大規模修繕に備えるための基金。もう一つの目的としては、統合中学校の整備、上下水道の整備、図書館の整備などについても基金創設の目的に位置づけられていたと考えております。大規模修繕が今後やってまいります。公共施設の大規模修繕等だけに限定した基金活用については検討の必要がある。

◆◆◆◆◆
安里 周作 議員



◆◆◆◆◆
給食費無償化について

質 学校給食無償化の制度設計、規則設定、条例設定に対する進捗の状況を伺います。

答 学校教育課長 石川 司

制度設計について、一部無償化という案も一つです。制度設定について詰めています。条例については、外部の条例の専門にも精査をしている。

質 財源確保で、10月の教育総合会議での協議内容について伺います。

答 学校教育課長 石川 司

無償化に進んでいく、推進していくということ、継続して実施できる制度にするため、慎重に検討を行っています。

質 一人親家庭を優先して給食費無償化は考えられないか。

答 学校教育課長 石川 司

一人親家庭の現状を見た場合、現在も給食費の補助、助成等は実施しているが、全てではないので、財源的に可能な部分ではないかと考えている。

◆◆◆◆◆
SDGs未来都市計画について

質 恩納村のSDGs未来都市計画のスケジュールのサステナビリティ・ハブ導入の全体計画の概要、経済、社会、環境について。

答 企画課長 山城雅人

サステナビリティ・ハブ事業については、役割、基本機能、方向性などの検討に関する基礎調査、事務局機能の検討、運営財源の検討を実施している。経済については、環境負荷の小さい観光スタイルの創出、恩納村の品質を担保し、中期的なブランディングを目指し検討している。社会の取り組みでは、OISTとの協働により、環境の保全を考え、環境エコ活動で村民と一緒に活動を発展させていければと考えている。女性の自立支援を行っていくために、多様な働き方の支援や仕事と家庭及び地域

◆◆◆◆◆
村道勢高2号線完成後の安全対策について

質 道路近くは子供も農家の方も往来します。直線道路、スピードを出して危険な箇所と想定されるが、工事終了後どのような安全対策を考えているか。

答 建設課長 崎山 敦

村道が優先となるため、車道区画線、白線を中央、左右に実施し、安全対策をします。完成後は、横断歩道、速度制限、停止線は、石川警察署、沖縄県警と協議してい

る最中です。

◆◆◆◆◆
ツルヒヨドリ生息範囲拡大対応について

質 特定外来種の村内における生息範囲を認識して対策を考えていますか。

答 村民課長 屋良 朝也

生息については認識をしております。村内における生息範囲に関して、目視で調査を行ったところ、ほぼ全域で生息している。すごい勢いで繁殖している。葉っぱからも繁殖するというので、処理に関しては注意を払わないといけない。これから沖縄県に指導を仰ぎ対策方法を検討していきたい。



ツルヒヨドリ

◆ ◆ ◆ ◆ ◆
島袋 裕介 議員



動している部活動が8種目、校外で活動しているのが2種目ござい
ます。

質 3月定例会での答弁で、教育課程部会のほうで部活動のあり方に関する方針という案をつくっている段階で部活動の数を配置される教員によってどれぐらいにするか検討しているとおっしゃってましたが、何か決まったことはありますか。

答 中学校統合室長 喜久山 隆

中学校統合の部活動について
質 うんな中学校開校まであと13日と迫ってきており、校章や校歌なども決定し、順調に進んでいると感じています。統合中学校の部活動について、今現在、各中学校で活動されている部活動は幾つありますか。

答 中学校統合室長 喜久山 隆
男女別に分けると学校内で活



うんな中学校

質 3月定例会での答弁で、まだユニフォームの話し合いはされていないと言っていました。うんな中学校のユニフォームをどのように考えているかお聞かせください。

答 中学校統合室長 喜久山 隆

ユニフォームに関しては開校後にそれぞれの部で生徒、また保護者、学校側と話し合っているうんな中学校にふさわしいユニフォームを作成していただきたいと考えてます。
質 開校してすぐ大会もあります



ので、できたら開校前に父母会を集めてユニフォームをつくれるような環境をつくってあげるとか。そういうことはしないのですか。
答 中学校統合室長 喜久山 隆
現在、部活動についてというくくりはないですけれども、PTAの発足に向けて準備委員会のほうを立ち上げる準備をしております。その中で部活動についての話し合いができたかと考えてます。
質 来年2年生、3年生の生徒に関してはユニフォームも二重負担になりますが、負担軽減の補助などは考えてますか。
答 中学校統合室長 喜久山 隆
保護者の負担ですけれども、確かにきょうだいが何名もいたら、かなりの負担になると考えています。この点、どのぐらいの金額が保護者に負担なのか、教育委員会内でも慎重に議論して検討していきたいと考えてます。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆
外間 勝嘉 議員



恩納村内の消火栓について

質 消防法で消火栓の設置及び管理義務者は。

答 総務課長 新里勝弘

消火栓の設置、移設及び管理に関する覚え書きにおいて、金武地区消防と締結しており、水道、消火栓の所在する市町村が行うという事になっている。

質 村全域に消防法で消火栓が適正に設置されているか。

答 総務課長 新里勝弘

村におきましては、140メートル以内に防火対象物から水利施設を設けなければならない。しかしながら、水道管の状況等も踏まえまして、未整備の部分もございます。

質 喜瀬武原の火災で北側に消火栓がない。現場から50メートルの消火栓が未整備で使えない。100メートルのところまでいって、給水車に給水して消火をするという事であります。150メートル先の消火栓を見ても使用不能である。再度設置する必要があると思いますが。

答 総務課長 新里勝弘
石油基地施設立地整備対策交付金で整備していきたい。

質 恩納村の公共施設の防火対策、消火対策は万全か。

答 総務課長 新里勝弘

本庁舎におきましては、消火栓等を設置しておりますほかの公共施設の周辺に消火栓が設置されていない状況も何力所がある。不備な箇所は早急に対策を行っている。
質 庁舎はスプリンクラーがついているか。

答 総務課長 新里勝弘

スプリンクラー等は設置されております。消防法におきまして、義務化されていない。

質 沖縄県の文化財が首里城の火災で焼失しておりますが、火災後に役場の庁舎内で危機管理上、公共施設について議論あるいは会議を持ったか。

答 総務課長 新里勝弘

庁議等では特に行っておりません。
質 リゾートホテルの火災予防、消火体制、消火栓設置状況と消防設備士による室内点検は。

答 総務課長 新里勝弘

消防水利の設置、指導、消防設

定住促進について

質 喜瀬武原の農地は農業振興地域に指定され宅地が少ない。公民館北側に村有地があるが、宅地造成、民営化、村営住宅という計画ができるのか。

答 企画課長 山城正人

喜瀬武原区で若者等定住促進住宅整備を進めていく上で大変有効な土地だと考えておりますので、住宅計画のときに、具体的に検討していければと考えています。

質 若者の定住促進は村長の政策に挙げている1丁目1番地。この場所について、今後のご所見を。

答 村長 長浜善巳

恩納村定住促進の住宅供給計画を策定している。子供も、若者もいなければその地域は衰退していきます。村も成り立つてはいきません。地域の皆様、議員、区長の貴重な意見を拝聴し、地域においても事業を進めていければと思っております。

表彰を受けました。

特旨叙位及び特別叙勲伝達式が、令和2年1月17日に沖縄県庁副知事応接室であり、村内から安富祖区の當山忠茂氏と恩納区の(故)池原曄一氏が長年の議員活動が評価され、謝花副知事より叙勲伝達がされました。



令和元年11月13日、30年以上の永きにわたり町村議会議員として、団体の意思決定、行政監視、政策提案といった議会活動に勤しみ、地域社会の振興発展及び住民福祉の向上に尽力したとして、喜納正誠議員が全国町村議会議長会より表彰を受けました。



吉山盛次郎 議員



山田校運動場照明施設に係る住民の機会均等の権利について

質 現状についての見解。

答 社会教育課長 長浜健一

山田校区の皆様やスポーツ団体には迷惑をかけてますが、他の団体と調整し、仲泊校のグラウンドやコミュニティ広場の使用など、他の施設の利用で対応させてます。照明施設を整備する具体的な計画はあるのか。

答 社会教育課長 長浜健一

具体的な整備計画はございません。

質 村民であるならば、平等な利益を享受する権利がある。機会均等の権利について村長はどう思いますか。

答 教育長 當山欽也

財源にも限りがあり、この整備についてはケース・バイ・ケースで考えていく必要がある。

質 公共施設整備基金の実績とその運用基準を伺います。

答 総務課長 新里勝弘

平成29年度、中学校統合用地取得等に6億4千万円。30年度、中学校統合関係に2億3千万円余り、令和元年度は、一般処分場関係が2億9千4百38万8千円、中学校関係4億5千5百37万8千円、新規事業についての裏負担に充てている。特に明確な基準等はございません。今年度の予算編成の中で基準は設けていきたい。

答 村長 長浜善巳

今後は公共施設の老朽化対策、また大規模改修等が始まってまいります集約化も図らなければいけない。

質 山田の照明は、集約化の対象と理解していいですか。

答 村長 長浜善巳

これから検討していかなければいけない。

質 マリンレジャー業者の許可認可制度導入について

答 当該制度の仕組み、構築は可

能であるか。

答 商工観光課長 山田俊幸

お宝認定という制度を活用したマリンレジャー事業の認定制度が考えられます。認定するためには、村内事業者であること。優良ダイビングショップであること。毎年一次救命措置とレスキュートレーニングを受講していること。ガイドスタッフが資格を有していること。マリンレジャー関連保険に加入していること。県警へマリン事業関連届け出をしていること。過去何力年に事故を起こしていないこと。地域ボランティア活動に積極的であること。サンゴの保護活動に積極的であること。村ふるさと納税の返礼品として登録されている、または認定後登録すること。村内のダイビングポイントを活用していること。村がお宝認定として認定したいと考えている。

質 子の貧困対策について

質 国から貧困対策に関する計画を策定する努力義務が課されている。対応できる計画があるか。

答 学校教育課長 石川 司

計画の策定には至ってないですが、総合計画、関係課と連携を

とつて子ども・子育て支援事業計画等で位置づけていきたい。今後、計画を明文化したい。

美留川周辺について

質 美留の由来はヒルヌシなんだと。それにかわる古い墓も点在しています。ヨシヤチルーの墓と伝えられる場所もあります。地域の開発が進んでいる。それとあわせて整合性、すり合わせなど役場はやっているのか。

答 社会教育課長 長浜健一

文化財に含まれる開発計画がある際には、文化財保護法にのっとり対応します。チルーの墓を裏づける資料がまだ未確認で調査を行っておりません。

令和2年度からの村陸上競技大会について

質 これからどうあるべきと考えてますか。

答 社会教育課長 長浜健一

小中学生から一般、壮年まで幅広く村民が競技に参加し、競技力や体力の向上と相互の親睦を深める有意義な大会を目指して進めていきたい。

議会の動き

11月

- 26日 2019年商工会会員忘年会
(ホテルムーンビーチ: 議長)
- 28日 福岡県議会行政視察(役場2階: 議長)
- 29日 恩納通信所跡地開発区域現場説明会
(ふれあい体験学習センター: 議長)

12月

- 5日 第13回議会運営委員会(議員6名)
- 6日 建設業者会忘年会
(ホテルムーンビーチ: 議長)
- 9日 令和元年第10回恩納村議会12月定例会・
本会議(開会)
- 10日 令和元年第10回恩納村議会12月定例会・
本会議一般質問(4名)
- 11日 令和元年第10回恩納村議会12月定例会・
本会議一般質問(5名)
- 18日 令和元年第10回恩納村議会12月定例会・
本会議(閉会)
観光協会忘年会
(リザンシーパークホテル谷茶ベイ: 議員)
- 20日 議会広報委員会(議員: 5名)
- 24日 キャンプ・ハンセンに関する三町村連絡協
議会 (金武町役場: 議長)
- 27日 役場御用納め大掃除(議員: 13名)

1月

- 4日 令和2年村成人式
(ふれあい体験学習センター: 議員)
- 7日 令和2年村民新年祝賀会
(ふれあい体験学習センター: 議員)



- 10日 令和2年消防出初式
(金武地区消防衛生組合: 議員)
北部基幹病院に関する説明及び意見交換会
(北部会館: 副議長)
- 14日 国・県出先機関の長及び関係団体と北部市
町村との新年会 (北部会館: 議長)
- 15日 恩納村 GM 会新年会
(ホテルモンレー: 議員)
議会広報委員会第1回編集会議(委員6名)
- 17日 高齢者叙勲、特旨叙位及び特別叙勲伝達式
(県庁: 議長)
- 20日 ファジアーノ岡山 FC 歓迎セレモニー
(赤間総合運動公園: 議員)

令和元年度石狩市・村中学生交流体験事業
歓迎式 (役場: 議長)

- 23日 沖縄県建設業協会北部支部新春の集い
(ホテルゆがふいん沖縄: 議長)
議会広報委員会第2回編集会議(委員5名)
- 24日 航空自衛隊恩納分屯基地新春の集い
(リザンシーパークホテル谷茶ベイ: 議長)
- 29日 OIST 学長・村長との会合(役場: 議長)
基地問題対策委員会(役場: 議長・委員8名)
- 30日 町村議会広報研修会(自治会館: 議員5名)



議会広報委員会第3回編集会議(委員5名)
(株)ONNA 役員新年会
(ホテルムーンビーチ: 議長)

2月

- 1日 OIST 会食会(ホテルモンレー: 議長)
- 2日 山田区字誌出版祝賀会
(山田区体育館: 議員)
- 4日 令和元年度北部振興会第1回総会
(名桜大学: 議長)
やんばる産学官連携シンポジウム
(名桜大学: 議長)
令和2年第1回金武地区消防衛生組合議会
(金武町: 議員1名)
- 5日 令和2年第1回議会運営委員会(議員 5 名)
韓国三星ライオンズ歓迎セレモニー
(赤間総合運動公園: 議員)
- 6日 議会広報委員会第4回編集会議(委員6名)
- 7日 令和2年第1回恩納村議会臨時会
- 8日 第 22 回村産業まつり
(ふれあい体験学習センター: 議員) 9日まで
- 9日 第29回「琉歌大賞」表彰式
(ふれあい体験学習センター: 議員)
- 14日 議会広報委員会第5回編集会議(委員6名)
- 18日 第49回沖縄県町村議長会定期総会
(自治会館: 議長)
三星ライオンズ歓迎交流会
(リザンシーパーク谷茶ベイ: 議員)
- 20日 町村議会議員・事務局職員研修会
(南風原町: 議員12 名)
令和2年2月第75回中部北環境施設組合議
会 (中部北環境施設組合: 議員2名)

議会だより「うんなNo143」発行